

(様式 1)

学校番号 (小)・中 32)

令和 7 年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (飯田小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・コロナ後、まずは地域の大人たちから明るい笑顔、元気な挨拶を行い、子供たちにとって、地域に知っている顔がたくさんあること、安心して生活できることを定着させたい。
- ・実際にどのような活動ができるのか、具体的な内容や役割等考えるところまで進めていきたい。

＜評価項目 1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ (ア) よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・学校運営の基本方針の説明を受け、重点目標の「きれいな学校 3 つの合言葉」や ICT の活用等について、委員それぞれの考えを出し合い、学校の取り組みもうとしている内容について理解を深めることができた。
- ・学校評価の項目についても意見を出し合い、改善点を熟議することができた。

＜評価項目 2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた (イ) できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・挨拶や言葉遣い、家庭学習等の課題や改善点について話し合い、学校・家庭・地域の関わりや支援について熟議することができた。
- ・今年度は、以前から熟議で挙がっていた CS による「いいだいなほ応援団」の活動をスタートすることができた。米作り、校外学習の引率、図工科ののこぎり、家庭科のミシン、算数科の九九等、多くの保護者に支援していただき、教育活動の充実につながった。

＜評価項目 3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った (イ) 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ・今年度から CS だよりの発行を開始し、保護者や地域へ学校運営協議会や支援活動の様子について情報発信することができた。

＜評価項目 4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・学校運営の基本方針や重点目標、支援策等について、課題や改善点を出し合い、学校・家庭・地域が連携して取り組むことができる活動や支援について熟議を進める。